

研究・調査報告書

報告書番号	担当
8 8	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
Effect of lifestyle factors on infertility in men. 男性不妊症と生活習慣の関係	
執筆者	
Tsujimura A, Matsumiya K, Takahashi T, Yamanaka M, Koga M, Miura H, Nishimura K, Takeyama M, Fujioka H, Okamoto Y, Iwamoto T, Okuyama A.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Arch Androl. 2004 Jan-Feb;50(1):15-7.	
キーワード	
喫煙、精索静脈瘤、男性不妊、生活様式	
要 旨	
<p>環境因子や生活様式の変化、職業上の有害物質への曝露が精液の質の低下の原因として知られている。本研究では 271 人の不妊症男性と 251 人の健康な男性を対象に、手術歴や生活習慣上での選択が不妊症に与える影響を調査した。</p> <p>精索静脈瘤切除術を受けた割合は対照群で 0.4%、不妊症男性で 2.9%で、不妊症男性のほうが高かった ($p<0.05$)。飲酒者は不妊症男性で 92%、対照群で 80%で、不妊症男性において高かった ($P<0.01$)。性生活への満足度は対照群で 85%、不妊症男性で 77%で、対照群で高かった ($P<0.05$)。その他の因子では不妊症との関連は認められなかった。</p>	